



浜松観光ボランティアガイドの会

「浜松城公園の魅力・家康プロジェクト推進事業について」研修会

6月21日(火)13時半から15時まで、浜松市職員お二人による当会研修部主催の講演が浜松市地域情報センターにて、当会会員75名の参加で開催されました。



講演の様子

まず都市整備部公園管理事務所の村松一幸氏から「浜松城公園の魅力」と題して、浜松城公園の令和4年度の整備計画等について説明がありました。具体的には天守閣の瓦の一部葺き替え、外装改修のほか天守閣3階のフェンス撤去(安全対策と展望の改善)、日本庭園のライトアップ・通路改修等も含め来園者に浜松城公園と大河ドラマ館を一体的に楽しんでもらう整備を進めていくとのことでした。

次に産業部観光シティプロモーション課の山口貴弘氏から「家康プロジェクト推進事業について」と題して、大河ドラマを活用し市民意識の変革、挑戦による持続可能な地方都市への生まれ変わり、やらまいか精神の再興を目指すための官民連携による組織体制や各分科会での取り組み状況等の説明がありました。また大河ドラマ館については、令和5年1月の開館に向けて、展示施設、特産品販売所、運営管理事務所等の設置を調整中とのことでした。

当会では「どうする家康対応プロジェクトチーム」で関係先との調整を進めていますが、一過性でない浜松への集客・賑わいの創出を期待したいと思います。

広報部 植田善和(北ブロック)

浜松市立東小学校にて「ふるさと講座」開催

6月10日(金)8時10分から11時55分まで、浜松市立東小学校6年生62人対象に事業部による校外同行ガイドが実施されました。学年主任の先生から「ボランティアの方のお言葉を一言も聞き漏らさないように」と高いハードルを設定された生徒たちは、8名程度で1班となり各2名のボランティアガイドの先導で出発しました。

未明の雨からうって変わっての晴天で、最初のポイント浜松八幡宮前の鞘堂で早速水を飲む生徒も。八幡宮では歴史的な学習と共に参道の歩き方など諸作法の体験的な学びもあり、生徒たちは楽しみながら歩みを進めました。「浜松城と徳川家康」のテーマで事前学習してあっただけに、雲立ちの楠など興味を持ってプリントの欄にびっしりと書き込む姿も見られました。椿姫観音では亡き夫に代わって最後の曳馬城主となり抵抗したお田鶴の方の悲話を、さらにホンダの発祥の地・蛇屋敷を学び、玄黙口へ。元城町東照宮では熱中症対策も兼ねて手水舎でお清めの実習をした班もありました。



浜松八幡宮にて

浜松城公園芝生広場でクラスごとの記念撮影をして浜松城へ。天守閣の野面積みの石垣を見上げるころには水筒が空になってしまう生徒も多く、銀明水井戸脇の水飲み場で給水。埋門から坂を下りて馬冷やしを道路越しに見学。さらに鎧掛けの松、秀忠誕生の井戸、お誕生橋を学習して、何とか時間内に東小学校に戻りました。

玄閑脇のホールでの締めの話では「ややバテ気味の生徒も見受けられましたが安全には十分配慮してほしい」との戸塚事業部長の言葉があり、学年主任の先生からはボランティアの方の熱心なガイドへの謝辞がありました。そして生徒たち全員からのお礼の言葉をいただき東小学校を後にしました。気温28度快晴の下での3時間半のウォークは生徒にもスタッフにもやや強行軍であったのかもしれませんが。

広報部 前原福子(西ブロック)

静大生による浜松まつり会館見学



見学後全員で記念撮影

6月6日(月)、静岡大学情報学部情報社会学科の主に3年生26名と教員4名が浜松まつり会館に見学を訪れました。実はこの見学イベントは静大の笹原先生から研修部の杉本さんをご指名を受けて、毎年恒例となって数年がたちます。大学生がまつり会館見学といっても、情報社会学科のフィールドリサーチの授業なのです。

まず13時ごろ到着した学生さん達はビデオを見てから、館内を一時間ほどで一巡、麻糸の説明から始まり、全国と浜松の凧の比較、糸の切れ方、凧の絵の描き方、御殿屋台の由来から値段、動かし方などの説明を熱心に聞いていました。凧合戦で切れた有玉の凧が220kmも飛んで房総半島で発見された事件には本当に驚いたらしく、どよめいていました。大学に戻った後、レポートにまとめなければいけないので、全員がそれぞれ写真を撮り、メモも必死に取っていました。後ろからその様子を写真にとるとほとんど学生さん達は下を見ていて、微笑ましかったです。

さて約一時間の見学から戻ると、座学と質問会です。祭りの組織やテギの使い方の説明(吉山さんと私もここで活躍?)、はたまた杉本さんの長生きの秘訣まで集中力を切らすことなく、真剣に聞いていました。

まつり会館内の見学後、全体写真を撮り、最後は防潮堤の見学です。しかし、この日は雨と風がひどく、防潮堤は遠くから見るだけになりました。

見学中は必死だった学生さん達も移動中や終わった後はリラックスした表情で話をしてくれました。授業で浜松まつりを勉強してから見学に来たようですが、実際に見学したことによってその規模や祭りにかかる人々の熱気が実感できたようです。町を挙げての祭りであること、祭りを動かしている町の組織の話聞いて、自分の故郷の祭りに思いをはせる学生など、みなさん素直に感動してくれていました。残念なのは、彼らが浜松に来てから、浜松まつりが一度もまともに実施されていないことです。来年こそは、本来の形で浜松まつりが実施され、今回浜松まつりに関心を持った学生さん達が学生最後の年に、浜松まつりを体験できることを願っています。

広報部 松沼素子(南ブロック)



凧糸の切れ方について説明を聞く様子

西ブロックミニ研修会 防災学習センターと天林寺訪問

5月31日(火)、西ブロック会議終了後、ミニ研修会を行いました。まずは防災学習センターに集合! 防災いこいの場で日頃は豪華なランチを食べている皆さんもこの日はおにぎりのランチです。満腹になった後は防災の学習。災害は忘れた頃にやってくると言いますからね。クイズに答えたり、ガンボールで作られた簡易ベッドやトイレに座わって貴重な体験をさせてもらいました。

さてここは2017年に閉校した北小学校跡地、私の母校です。浜松城天守が建てられた翌年、ピカピカの一年生の私を待っていたのはボロボロの兵舎を改造した校舎でした。給食は脱脂粉乳にコッペパン、周辺の山には防空壕が残っていて子供達の秘密基地でした。三方ヶ原の戦いの伝説が残る常楽寺方面から歩いて来ると、まだ天林寺山の切り通しの道は無かったので、左右どちらかに迂回しなければ浜松城方面には出られませんでした。武田軍も追撃して来て迷ったことでしょう。

防災学習の後はその天林寺の散策です。境内は私が可愛い少年の頃の遊び場でしたが当時は石像や立派な山門も興味がありませんでした。この日は研修部も来るよと聞いたので私のコレクションから新選組隊士中島登の描いた戦友達の錦絵を皆さんに配布、更に天林寺でお茶を習っている南ブロックの松沼さんとサプライズを企画、お茶の先生御住職の奥さまにお願いをして茶席とお庭を鑑賞させて頂きました。市街地の中にこんな素晴らしいお庭があるなんて知らなかったと皆さん感動でした。お茶とお菓子までいただきジャジャジャ、サプライズ大成功でした。



天林寺の庭を鑑賞

西ブロック 飯尾 隆

中ブロックミニ研修会 三方ヶ原の戦いの地を巡る

小池中ブロック長の声掛けから始まった「今年のうちの中で、ミニ研修を計画していきましょう」の実践！！その第一弾として「三方原の戦いの地」を巡る研修を実施しました。

日時は6月6日（7日を予備日）犀ヶ崖資料館に9時集合、移動手段は自家用車ということで計画をしました。しかし、6日当日が雨となり7日に変更することになり、当日参加予定だった方達には、ギリギリの連絡となってしまい、大変迷惑をかけて申し訳ありませんでした。

さて、6月7日(火)は快晴となり、当日参加できた11名のの人たちと車3台にそれぞれ分乗し、にぎ



本乗寺にて

やかに犀ヶ崖を出発しました。コースは犀ヶ崖→大菩薩の坂→欠下(かけした)→旧宇藤(うとう)坂→欠下坂→信玄街道→北大菩薩→滝洞(たきどう)坂→三方原墓園《トイレ休憩》→根洗い松→旧祝田(ほうだ)の坂→中川(ちゅうせん)寺→刑部(おさかべ)城跡→刑部砦→おんころ様跡地→精鎮(しょうちん)塚跡→本乗(ほんじょう)寺→犀ヶ崖というもので、何と！午前中に16ヶ所も回るという盛り沢山のものでした。内容的には大変充実していて三方原の戦いの事がほとんど網羅されていると思います。

今回の幹事になったのは23期の3人で特にリーダーの坂本さんには中島・長谷川を引っ張っていただき、少しは皆さんのお役に立てたのかな？と思います。有難うございました。

研修で現地へ行って見ると450年前の三方原の戦いが目の前に浮かんでくるようで、歴史好きにはたまらないものがあります。なお、今回参加できなかった人達のために次回には内容量を見直し、時間のゆとり等を考えて調整したいと思います。これからも中ブロックの皆さんとのコミュニケーションを大事に活動していきたいと思っています。ご協力有難うございました。

中ブロック 長谷川 幸夫

新入会員の入会動機



浜松に長年住んでいても地元の歴史に疎く、学ぶのに最適な機会と思い参加させていただきました。歴史を少しでも学ぶことができればより郷土愛も深まり生活に張りが出てきてガイドにも熱が入ると思います。また自分は英語を勉強していますのでそれをガイドに応用できればより生活が充実すると思いました。

中ブロック 河合尋之



娘が成人したのを機に仕事時間を減らしました。余った時間で何かできることはないかなと考えているとき、知人が観光ボランティアをやっていると聞き興味をもちました。県外から移り住んで20年、娘と共に親として育った町のことを何も知らないことに気づかされ、ボランティアを通じて今さらながらにこの町の一員になりたいと応募させていただきました。

中ブロック 久保田絢子



郷土史研究会とウォーキングの会で知り合った方に元ガイドの会の方が3人いらっしゃったことと、2021年10月12日に訪れた犀ヶ崖資料館で、2023年に大河ドラマの舞台となるがガイドの需要対応に窮することが予想され、多数の応募を願いたいと大変熱心に勧誘されていた姿に心が動かされました。

浜松は戦災により国宝を含む文化財のほとんどを失いましたので京都、奈良、鎌倉と比すべきありませんが、家康公、秀吉公縁の寺社の紹介、産業都市の企業見学、音楽関連施設、湖や河川、豊富な食材等の広報関連のお手伝いできればと思い決心を致しました。県庁所在地以外で存在感を示す都市で浜松が参考とすべきは、郡山市、高崎市、川崎市、堺市、北九州市で、県庁所在地では新潟市、さいたま市、静岡市、岡山市、熊本市と思われます。各市の取り組みも学び役立てたいと思います。

西ブロック 伊藤 潔

◆ 会員の皆様へお知らせ ◆

家康プロジェクト推進協議会公式 Twitter と徳川家康公特設 WEB サイトオープン

◆「徳川家康公ゆかりの地」である浜松の歴史・文化を全国に情報発信するため、浜松市「家康プロジェクト推進協議会」では、公式 Twitter アカウントを開設しました。

浜松の歴史や文化だけでなく、大河ドラマ館情報やイベント情報など、浜松の魅力を全国へ発信しています。ぜひ“フォロー”や“いいね”、“リツイート”で応援してください。

サイトはこちら→@ieyasu_hama



「徳川家康公ゆかりの地」浜松～出世日記～



◆浜松市と（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューローが共同で、2023年放映予定の大河ドラマに向けて、徳川家康公にまつわる当地域の情報をまとめた特設 WEB サイトを開設しました。

サイトはこちら→(hamamatsu-ieyasu.com)



「徳川家康公ゆかりの地」浜松～出世日記～

@ieyasu_hama

浜松市「家康プロジェクト推進協議会」の公式アカウントです。徳川家康公ゆかりの地「浜松」の魅力をお伝えしていきます！

📅 2022年4月からTwitterを利用しています

家康公検定 2022 実施要項と受験申込方法

- ・試験日時 令和4年10月15日(土) 10:30~12:30
- ・申し込み期間 令和4年7月1日(金)~8月12日(金)
- ・試験会場 浜松商工会議所 (浜松市中区東伊場 2-7-1)
- ・出題内容「家康公の平和外交」
- ・出題数 100問 (四者択一式)
- ・受験料 (税込) 2,000円
- ・申込方法 受験申込ホームページをご覧ください。

サイトはこちら→ <https://ieyasukou.jp/contents/youkou/>



問い合わせ先 一般社団法人徳川家康公に学ぶ会 事務局 0564-25-7213

6月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター（浜松駅構内）」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

4日 土	JR 東日本びゅう7城めぐり	18名
14日 火	磐田市立長野小学校	49名
21日 火	浜松市立気田小学校	10名
23日 木	磐田市立東部小学校	146名
24日 金	浜松市立砂丘小学校	16名
	阪急交通社	27名
27日 月	磐田市立青城小学校	100名
28日 火	浜松市立井伊谷小学校	82名

《犀ヶ崖資料館》

9日 木	浜松市立上島小学校	128名
16日 木	浜松市立北浜南小学校	80名
17日 金	浜松市立村櫛小学校	5名
21日 火	浜松市立芳川小学校	133名
24日 金	浜松市立砂丘小学校	16名

《浜松まつり会館》

3日 金	四日市市立南小学校 (修学旅行)	33名
6日 月	静岡大学情報学部	30名
16日 木	浜松市立広沢小学校	141名

はままつ案内人会報 240号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会
〒430-0946 浜松市中区元城町 100-2 (浜松城内)
TEL & FAX 053-456-1303
メールアドレス mail@hama-svg.jp
ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

はままつ案内人

検索

